

にいはまエコライフ通信

第 10 号

H28.6.1 発行

平成28年度総会(平成28年6月25日開催予定)

平成28年6月25日(土)14時より、文化センター中ホールにて、平成28年度総会を開催いたします。
総会では、議事として3つの議案を提示する予定としています。
総会終了後、新居浜工業高等専門学校の学生による事例発表「新居浜高専出前授業」を行います。



平成28年度総会会次第

- 1 開会 開会あいさつ
- 2 議事
 - 第1号議案 平成27年度事業報告について
 - 第2号議案 幹事会役員の承認について
 - 第3号議案 平成28年度事業計画(案)について
- 4 その他
- 5 閉会 閉会あいさつ

環境学習講座「未来に残そう 生命(いのち)あふれる地球を!!」

平成28年度の総会に併せて、
環境学習講座を開催します。

今年の環境学習講座講師は、
環境ジャーナリスト 富永秀一さんです。

全国各地で講演、トークショー、シンポジウムの講師やパネリストを務められるなど、環境イベントに参画されています。

【講演内容】

大規模な気候変動、数十メートルもの海面上昇の事実から目をそらしていませんか？人類を襲う未曾有の危機のリスクに切り込み、わかりやすい表現でみなさまにお伝えします。住みやすい地球環境を次の世代に残しましょう。

《講師紹介》



【講師】 環境ジャーナリスト
富永 秀一氏

テレビ局のアナウンサーを10年経験後、ライフワークとして環境問題に取り組むため独立されました。

環境問題についてニュースの企画や番組を数多く制作され、自らがエコライフを楽しみながら実践されています。

財布にも環境にも優しい、豊かに暮らせる新しいライフスタイルをメインテーマに、テレビ番組・新聞・インターネット放送・講演など多方面で情報提供や、独自の視点からの提案をされています。

総 会

新居浜市地球高温化対策地域協議会幹事会名簿

第1号議案として、平成27年度の実施事業と幹事会開催の報告をします。

平成27年度は、マイバッグ持参推進キャンペーン、運転免許保有者を対象に免許更新時のエコドライブチラシの配付等を実施しました。

承認事項として、第2号議案で、幹事会役員の承認、第3号議案で、平成28年度事業計画(案)の承認となっています。

平成28年度の事業計画(案)では、引き続き5つの継続課題に取り組むことを諮ります。

【継続課題】

- ・マイバッグ持参推進に関すること
- ・節電・節水に関すること
- ・ごみの減量に関すること
- ・環境学習の取組推進に関すること
- ・車に頼らないエコ交通に関すること



	役職	団 体 名
1	会長	新居浜市
2	副会長	新居浜商工会議所
3	副会長	新居浜市連合自治会
4	幹事	新居浜市議会
5	幹事	新居浜市女性連合協議会
6	幹事	にいはま環境市民会議
7	幹事	新居浜環境カウンセラー等交流会
8	幹事	新居浜建設業協同組合
9	幹事	新居浜市PTA連合会
10	幹事	新居浜市老人クラブ連合会
11	幹事	新居浜市農業協同組合
12	幹事	新居浜市食生活改善推進協議会
13	幹事	新居浜市消費生活改善推進協議会
14	幹事	新居浜市連合婦人会
15	幹事	四国電力(株)新居浜支店
16	幹事	いしづち森林組合
17	幹事	新居浜・西条地区トラック協会
18	幹事	新居浜市公民館連絡協議会

6月は環境月間です ～6月5日は環境の日～

6月5日は、環境の日です。環境の日は、1972年6月5日にストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められました。国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定めており、

日本では「環境基本法」(平成5年)が「環境の日」を定めています。この日は、世界中の人が『環境』を思い行動します。

平成3年から、6月の1か月間を「環境月間」としています。6月中は、関係府省や地方公共団体などにより全国各地で様々な行事が行われます。是非行事にご参加ください。



事例発表 「新居浜高専出前授業」～地球環境・エネルギー実験～



近年、日本では、少子化に伴い小・中学校の理科の教員数が減少しています。理科室はあるが、実験が十分にできていない現状にあり、新たな理科離れへの対策が必要となっています。

また、小・中学校では新指導要領の中で環境・エネルギー教育が取り上げられており、児童・生徒に興味・関心を持たせ、理解させる工夫(実験等)が必要となってきました。特に東日本大震災後、今後の日本の「地球環境に配慮したエネルギー利用」を考えていく機運が高まっており、環境・エネルギーに関する意識の向上や教育が重要となってきました。

このような状況を踏まえ、新居浜高専では、小中学生向けの出前授業教材として「地球温暖化実験」、「身近な電池」、「風力発電と蓄電」などの実験装置を開発し、学生が講師役を務める「学生主役型出前授業」を実施しています。

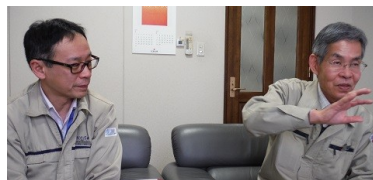
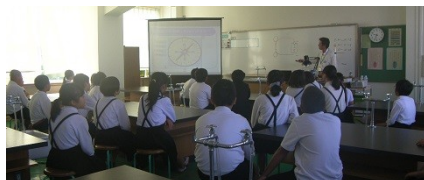
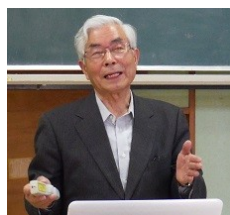
この実験装置を用いた出前授業を行うことにより、これからの日本の未来を担う子供たちに、今後の日本のエネルギー問題について関心を高めてもらうことが期待できます。

【発表者】

新居浜工業高等専門学校 学生



「環境出前講座」の講師と受講者 大募集中！



環境出前講座とは？

会員団体などからの要請で、講師が環境学習会の場に出向き、環境問題に関する説明などを行うことにより、会員団体をはじめ、多くの市民の皆様の環境に対する意識の高揚を図り、環境への負荷の少ない社会の構築に向けて主体的な取り組みを行うものです。

随時、講師と受講者を募集中です。事務局までご連絡ください。



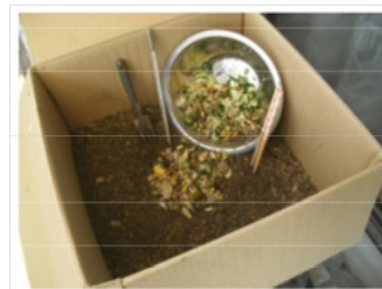
家庭でリサイクルしませんか！ 新居浜環境カウンセラー等交流会

皆さんの声を聴きながら開発した「にいはま方式の生ごみ処理方法」をご紹介します。

★生ごみの量が少ない家庭にオススメ！

どんぶり鉢一杯以下の量の生ごみなら、“段ボールコンポスト”で処理できます。

- ・段ボール箱に基材(竹粉ともみ殻の炭)をいれる。
- ・細かく切った生ごみを基材と混ぜる。
- ・毎日生ごみを入れると温度が40～60℃位まで上がって、生ごみが分解して翌日には形が無くなる。
- ・箱は、雨が当たらない場所に置く。



★生ごみの量が多い家庭にオススメ！

どんぶり鉢数杯より多い量の生ごみなら(菜園の野菜くずもOK)“据置型コンポスト”で処理することが良いでしょう。



A

B

C

- A: 蓋で密封すると内部が多湿、酸素不足になり生ごみが腐敗してウジが湧くのでこの方法はダメ。
- B: 通風のためにふたに隙間を作る。
- C: 上下を逆にすると口が広くなり作業がしやすい。

お知らせ

ほぼ毎週、市内の公民館で講習会を開いています。どちらの会場でもご参加ください。日程や開催場所については、定期的に市政だよりなどに掲載しております。

市内の1割(約5千戸)の家庭に普及させることを目標にして普及活動をしています。

詳細はごみ減量課(電話65-1252)にお尋ねください。



ポイント

- ・半分の高さまで基材(もみガラ)を入れる(上のC方式)。
- ・生ごみ、野菜くずを入れて、刃を研いだスクレーパー(木の皮やタイルなどを剥ぎ取る道具)等で突いて細断する。
- ・基材とよく混ぜる。
- ・雨除けと通風のためにポリの波板をかぶせる(C方式)。

編集・発行

新居浜市地球高温化対策地域協議会事務局

〒792-8585 新居浜市一宮町一丁目5番1号(新居浜市役所環境保全課内)
TEL(0897)65-1512 FAX(0897)65-1255 E-mail:hozen@city.niihama.ehime.jp



